

オーストラリアパビリオン

【設計】BUCHAN・株式会社日建設計



撮影：エスエス (左海一郎)

Chasing the Sun — 太陽の大地へ

オーストラリアパビリオンのコンセプトには、豪州の自然・歴史・人の今を発信することで、オーストラリアに新たな機会を創出し、そのことで日本との関係、さらには世界との関係をより良き方向へと発展させるという想いが込められています。

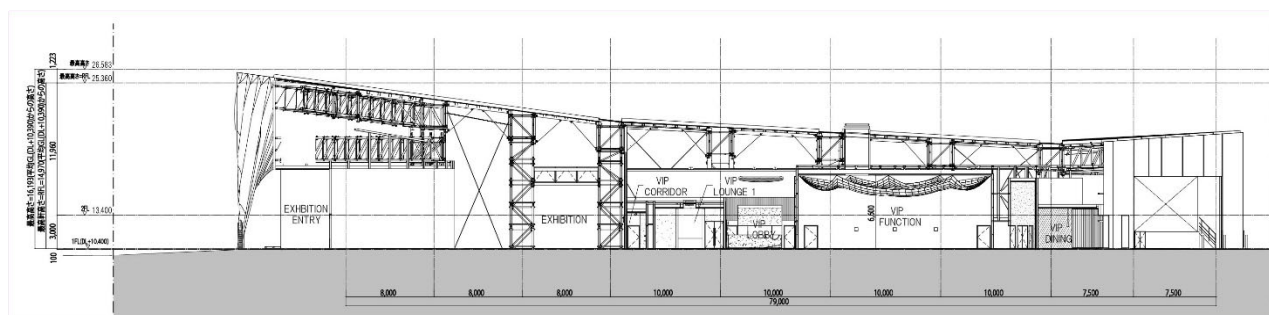


図-1 南北断面図

【パビリオン概要】

オーストラリアパビリオンは、大規模鉄骨トラスによるメイン架構を、外皮（屋根・外壁）としての膜で包み込みような構成としています。メイン架構によって創りだされた大空間の内側に、大きな展示空間やメインダイニングなどの重要空間を機能的に、かつコンパクトにハウスインハウスの手法をもって配置しています。

また、このパビリオンの建設に際しては、持続可能性にも十分配慮しています。メイントラス部材には、東京オリンピックの会場で使用した材料をリユースしたものが採用されています。施工担当の英国 ES グローバル社は、このメイントラス部材を自国より日本の万博会場へと運搬し再生利用しています。

建築面積：2,291.25 m² 建蔽率：65.39%
延床面積：2,821.59 m² 容積率：80.53%
建物高さ：16.193m
建物構造：鉄骨造 一部 骨組膜構造 2階建て

【設計概要】

パビリオンの外観は、オーストラリアのシンボルであるユーカリの花（図-2）から着想を得たデザインで、国の活気と多様性を象徴しています。

パビリオンでは、オーストラリアの最新技術、豊かな文化、ダイナミックな社会を体感できる様々な文化イベントやビジネス・プログラムが開催されます。

来場者は没入型体験を通じて、オーストラリアを横断する太陽を追いかけて、新たなオーストラリアの一面を発見する冒険の旅をすることができます（図-3）。



図-2 ユーカリの花

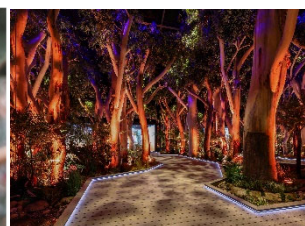


図-3 ユーカリの森

撮影：エスエス (左海一郎)

当施設の確認検査は、（一財）日本建築総合試験所が実施しました。